

会長より一言

今年も残りわずかとなりました。会員の皆様のおかげで今年も無事終わろうとしています。

本年は日本徒手療法学会第1回学術集会の開催、その他の研修会を開催するなど、会員の皆様のご協力で成功を収めることができました。特に第1回学術集会では、今後、日本の理学療法の発展に必要な米国ダイレクト・アクセスの歴史を振り返り、日本の理学療法教育に求められることとお話させていただきました。理学療法士が今まで以上に責任ある立場で働くことができるためには理学療法診断は必要であること、理学療法士の対象は病気そのものではないため、機能不全を診断するための機能解剖、疼痛についての知識が必要であることなどです。

特別講演では米国セントオーガスティン大学より Rob Stanborough 先生をご招待し、トリガーポイントについて、最新の研究を含めご講演いただきました。トリガーポイントについての理解が深まったことに加え、紹介された最新の研究は日常我々がおこなっていることを支持する研究であり、臨床家として研究をどのように利用するのか非常に参考になったことと思います。常に、臨床家と研究者の立場の違いを理解し、それぞれが、それぞれの場で活躍することが理学療法の発展につながるようになります。

来年は、本年以上に臨床家の視点を中心として活動していくことを計画しております。臨床実習、解剖学実習など、新たな会の活動も計画中です。臨床実習として、講習会で学んだ知識・技術を実際にどのように使用するのか、また、使用できない患者、病態の時期など現場で経験をしていただき、徒手療法そしてその位置づけを学習できるようにすることを予定しております。

本年同様、臨床家のための研究も継続しておこない、教育している内容の裏づけを増やし、その成果を海外で発表または英語論文へ投稿していくことも継続していきます。

来年も、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

佐藤友紀

この号の内容:

会長より一言

1

日本徒手療法学会

第1回学術集会 開催

2-3

アンケート結果

3

トピックス

T4 Syndrome

4

研修会アナウンス

4-5

書籍紹介/入会案内

6

日本徒手療法学会 第1回学術集会 開催

平成 23 年 11 月 6 日に大阪(大阪医療福祉専門学校)にて、第1回目となる学術集会を開催致しました。



基調講演講師
University of
St. Augustine
S1, S3 インストラクター
佐藤友紀

参加人数は約90名と多くの先生方よりご参加いただきました。テーマは「理論的な徒手理学療法の実現」と言うことで、まず始めに基調講演では St. Augustine 大学の S1・S3 インストラクターであり、本学会の会長でもある佐藤先生より「断片的知識から理論と診断への道筋」ということで講演をしていただきました。日本理学療法士協会が長年課題とあげている開業権について米国の状況、そしてそこから導かれる理学療法士が行うべき診断の意味や重要性を丁寧に説明され、最後にそれらを踏まえた上での徒手療法教育の再考と、今の日本の理学療法士に足りない部分を、まさに理論から診断への道筋そのものを示していただけました興味深い内容だったと思います。



(基調講演の様子)

次に症例検討も3人の先生方がそれぞれ発表されました。会場の先生方より、具体的な内容がよく分かり非常に勉強になったなど、こちらも参加者の先生よりご好評をいただき、大変盛り多い症例検討会になりました。



(症例発表の様子)

そして最後に海外招待講演では St. Augustine 大学の MF1 インストラクターである Rob Stanborough 先生をお招きして「トリガーポイントの根拠—知識、検査、治療の面から」という題で特別講演をしていただきました。

Rob 先生からは日本では曖昧に理解されている部分も多いトリガーポイントも、最新の科学的根拠をもちいて非常に分かりやすくご講演いただきました。



海外招待講演講師
University of
St. Augustine
MF1 インストラクター
Rob Stanborough

最後には少しでも実技も含めていただきトリガーポイントの、根拠に基づく治療の重要性を再認識致しました。多くの参加者の先生方からも自分の臨床を見直すきっかけになった、曖昧な部分を確認することができたなど参加された多くの先生方より好評をいただきました。



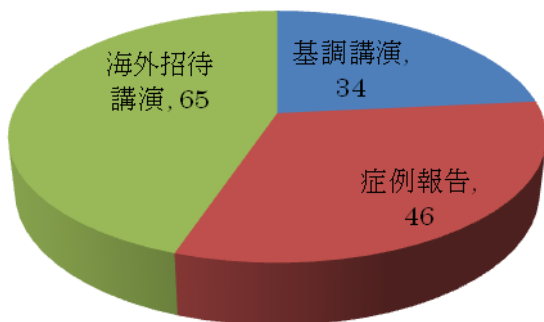
(海外招待講演の様子)

最後になりましたが、御講演をくださいました佐藤会長、Rob先生、症例報告をして下さいました先生方、ご参加いただきました先生方、会場をご提供くださいました大阪医療福祉専門学校の先生方、後援をいただきました日本理学療法士協会の関係者の方々、協力企業の方々に深く感謝申し上げます。

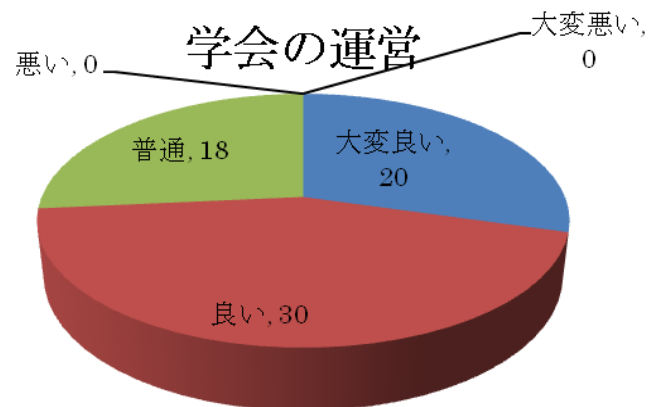
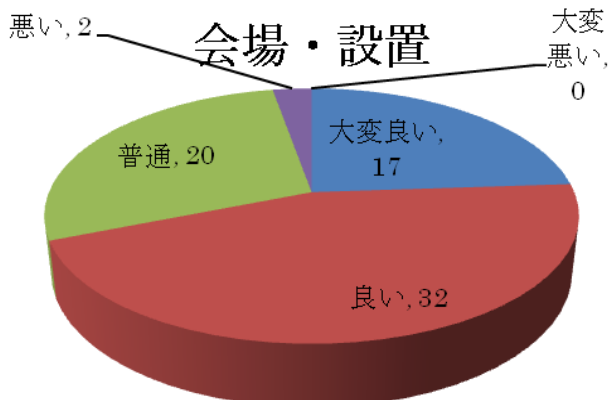
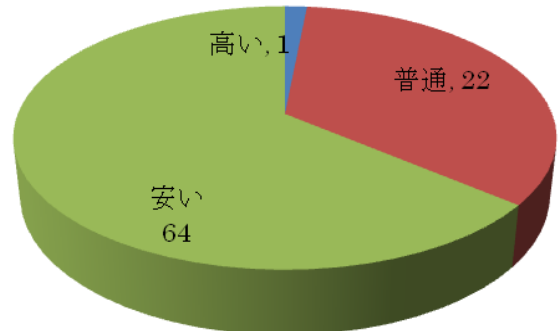
(理事一同)

第1回 学術大会 アンケート結果

興味のある内容



参加費



第1回の学術大会に合わせて、参加者の先生方にアンケートのご協力をいただきました。結果、多くの参加者から好評をいただき、またコメントとして「診断の大切さを知った」、「今後の臨床に役立てたい」などのご意見をいただきました。アンケートにご協力いただきました先生方に厚く感謝申し上げます。

T4 Syndrome

はじめに

T4 症候群についての初めて記述は 1950 年代のカイロプラクティックの論文である。しかし、この論文について議論されることは殆どなかった。T4 症候群とは頸部や頭部に明らかな原因がないにも関わらず上肢に感覚障害や疼痛がある(Maitland 1986)、上位胸椎(一般的には Th4)のモビライゼーションで症状を誘発・再現(Grieve 1988)、交感神経節が影響:Th1~4 頭頸部、Th1~9 上部体幹・上肢(Bogduk 2002)といったものである。日々の臨床において、このような症状・所見を呈する症例と出会ったことがないだろうか。未だに正確な診断方法や原因は不明であるが、これまでに報告されている論文(症例報告)をもとに T4 症候群について紹介したいと思う。

* 詳細につきましては、会員用のニュースレターをご参照ください。

研修会アナウンス

平成 24 年 1 月 7-9 日(土日、祝日) S2 講習会 キャンセル待ち

開催地:大阪市 大阪医療福祉専門学校

講師:Larry Yack(St.Augustine 大学 S2 インストラクター)

受講料:会員 57,000 円 非会員 60,000 円

平成 24 年 1 月 29 日(日) 椎間関節、椎間板の病態と徒手療法

開催地:東京都 臨床福祉専門学校

講師:佐藤友紀(St.Augustine 大学 S1,S3 インストラクター)

受講料:8,000 円

平成 24 年 2 月 11 日(土・祝) 脊柱の評価と治療の基礎(S1)復習編

開催地:大阪回生病院

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(St.Augustine 大学 S1 インストラクター)

受講料:会員 3,000 円 非会員 6,000 円

※S1講習会受講済みが参加条件になります。参加者が20名未満の場合、開催致しません。予めご了承ください。



教育研修委員会
西村 直樹

平成 24 年 3 月 3,4 日(土、日)、3 月 17, 18 日(土、日) 脊柱の評価と治療の基礎(S1)

開催地:立川市 関東リハビリテーション専門学校

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(St.Augustine 大学 S1 インストラクター)

受講料:53000 円(前半 2 日間受講 27000 円、後半2日間 26000 円)

平成 24 年 5 月 3-6 日(土、日、祝日) 四肢の評価と治療(E1)

開催地:大阪市 大阪回生病院

講師:Michael Tuner (St.Augustine 大学 E1 インストラクター)

受講料: 会員 71,250 円 非会員 75000 円

平成 24 年 7 月 29 日(日) 脊柱不安定性

開催地:大阪市 大阪回生病院

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

公森隆夫 (St.Augustine 大学 MF1インストラクター)

受講料: 会員 7,000 円 非会員 10,000 円

平成 24 年 7 月 14-16 日(土、日、祝日) 筋筋膜の評価と治療(MF1)

開催地:大阪市 大阪回生病院

講師:公森隆夫 (St.Augustine 大学 MF1インストラクター)

受講料:会員 47,500 円 非会員 50,000 円

平成24年8月26日(日) 頸椎の評価と治療(S3) 入門編

開催地:岡山県

講師:佐藤友紀

会費:会員 7,000 円 非会員 10,000 円

平成 24 年 10 月 6-8 日(土、日、祝日) 骨盤の評価と治療(S4)

開催地:立川市 関東リハビリテーション専門学校

講師:Richard Nyberg (St.Augustine 大学 S4 インストラクター)

受講料: 会員 57,000 円 非会員 60,000 円

平成 24 年 10 月 20,21 日(土、日)、11 月 3,4 日(土、日) S3 講習会

開催地:岡山市

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

受講料: 会員 50,350 円 非会員 53,000 円

日本徒手療法学会

スタッフ

会長

佐藤友紀

副会長

増井健二

事務局

山田一貫
浦慎太郎

教育研修委員会

橋場貴史
西村直樹

ガイドライン検討担当委員会

生田伸二

学術検討委員会

公森隆夫

広報委員会

内田 武

事務局

大阪回生病院

リハビリテーションセンター内
〒532-0003

大阪市淀川区宮原 1-6-10

TEL :06-6393-8264

FAX :06-6393-3509

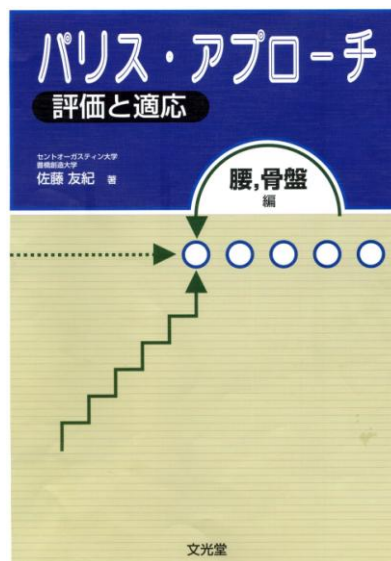
E-mail: jsmt@kaisei-hp.co.jp

Web サイト

URL: <http://jsmt.jimdo.com/>



書籍紹介



書籍の内容の特徴:

解剖を中心として病態を考えるため、徒手療法の治療手技に固執せず、運動・姿勢指導などの重要性を認識できます。多くの治療法を組みあわせることで徒手療法を効果的にする考えで書かれています。これまで“徒手療法をすれば治る”という誤解を、“徒手療法を治療に組みあわせることで治る患者もいる。長期管理が必要となる患者もいる。徒手療法を組みあわせて患者に接することで予防する”といった総合的な治療を再認識させる書籍であります。今後、続編を出版予定です。

新規入会手続きについて

入会をご希望の方は、下記の手順に沿って手続きを御願いたします。

入会希望者手続き

- ① ホームページ(<http://jsmt.jimdo.com/>) 上より Excel のダウンロード
- ② Excel に必要事項入力
- ③ 年会費(3,000 円)振込
ゆうちょ銀行 記号 14020 番号 30477041 日本徒手療法学会
他金融機関からの振込み受け取り口座
【店名】 四〇八(読み ヨンゼロハチ)
【店番】 408 【預金種目】普通預金
【口座番号】3047704 日本徒手療法学会
- ④ 事務局へメール送信(※入力済みの Excel を必ず添付)
jsmt@kaisei-hp.co.jp

【会員特典】

1. 本学会が刊行する機関誌の布を受けること
2. 総会、学術集会、その他本学会がおこなう事業への参加ができること
3. 機関誌への投稿、学術集会への出題・応募ができること
4. セントオーガスティン大学主催の講習会を優先的に受講できること
5. セントオーガスティン大学主催の講習会を受講料の95%で受講できること
6. すでに受講済みの講習会を復習のために再受講したい場合、受講料の70%で再受講できること

日本徒手療法学会

事務局 大阪回生病院 リハビリテーションセンター内

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目 6-10

TEL 06-6393-8264 FAX 06-6393-3509

E-mail jsmt@kaisei-hp.co.jp